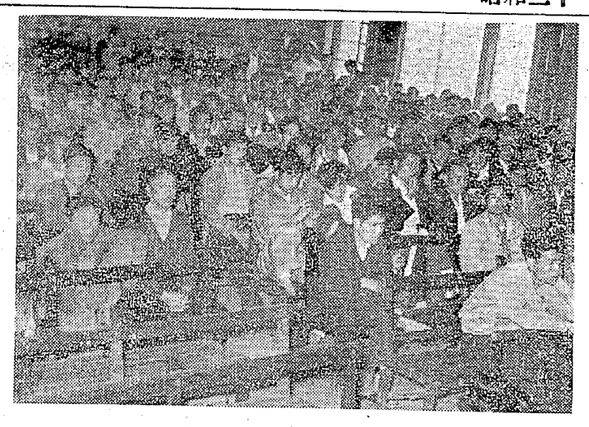
不満だが組織は守られた
甘かった情勢分析
宮浦三分會で論議沸騰

今次到達闘争をめぐってきの二十三回中央委員会は議論沸騰、実に五時間十分、八十四委員により白熱の質問の矢が集中された。これはそのまま組合員大衆の声を反映したものと考えられる、結局中央委員会で報告承認されたのだがなおかつ組合員家族の胸の底には釈然としないものがわだかまっている。しかも表面に浮んでいるものは一部幹部にみられるごとく組合の不利と世間はみているが、われわれはその底に隠された重大な意義を見落すわけにはいかぬ。即ちそれは組織の防衛であり、既得権の確保、これをとにかくにも独占資本の反撃を覚えさせしめ彼等の巻返し戦術を排したのは大きな意義があったのだ。このような意義の下に宮浦支部第三分会（五百三十名）では二十日午後三時半より約三時間に亘って委員会報告が行われた。以下は現場の人たちの質問の中から主要なものを取上げてみよう。


真剣な質疑が續けられる（宮浦三分会）

早急妥結の因は

質　苦戦だったがどういうわけでこう早急に妥結したか。

答　彼我の力関係をみて、わが方は他の五山の同志が闘いに対する切実感に乏しく、三段階方式が完全に理解されずおっきあいだという感じだった。この中で北海道のストという圧力でまがりなりにも組織の分裂意図を粉砕したのは大きな意義がある。

質　妥結寸前に情勢分析をやったかどうか。

答　寸前の最大の圧力がかゝったときにやられるのが適切だと思っている。

質　小委員会のメンバーは誰か。

答　畠山、久保田、若松の各氏。

質　三池が前段闘争を闘うと言同じ労働協約をしている他山がこれを具体的に論議したかどうか

答　やっているとは聞いていない

質　三鉱連は六山の統一闘争にどう努力したか。

答　実情を各山に訴え相当情宣もなされて、三鉱連統一闘争というものが最終になされている。

質　優闘終結後、直ちに到達闘争へ持っていくのを他山は認識していたか。

答　妥結とともに到達闘争に入ったとき詳細に情宣を行った。

三池に迫つた総資本

質　最初から防衛闘争になりはしないかと心配していたが、闘争中の批判は厳業ではなかったか

答　最初の問題はやさしかった、当分会の要求も妥長の所でやすやすとれるつもりだった。当時会社の圧力が非常に大きく感じていて絶対引かない状態だった、それに批判は本当に建設的批判でなくひぼうになるおそれがありこれは闘いを敗退させる。

質　始めから組合の情宣では総資本と総労働の対決ということではなかったか。

答　結果として総資本対三池という形に変ってきた、当初は考えていなかった。

質　闘争が根本的に間違っている苦情処理に毛の生えたような問題をどうしてあんなに大きく、持っていかねばならなかったか

答　組合の闘いは間違っていないと思う、ただ情勢分析の把握が間違っていた。会社がやさしい問題に答をだざなかったところに本質的な問題がある。今後はこの闘いをいかに生かすかということが大切だと信ずる。

他山の態勢は

質　三鉱連の内部態勢といわれるが、他山に十分知らせず後でモタついたことは三鉱連中央委員会は、これに対する戦術転換などをきめなければならないと思う、これにはどういう理由だったか。

答　山野、田川も最初からついてこないとはいっていない、三鉱連は争って勝たせるという決議をして努力したが十分でなかった。最初は努力すれば可能だとみていた。

質　前段闘争は各山でどう組まれたのか。

答　三鉱連一本の形でやられた。

質　失なわれた生産を取返すことは協定書にあるが、労働強化にならないか。

答　これは期待するということであって強制するものではない。われわれに責任はないのです。

質　労協問題の違反は、組合では違反か違反でないかを事前につかんでおったか。

答　違反でないと思っている。本当に違反ならば会社はこの前に提訴すると思う、提訴しないから力の関係になったそれが力の相違でこういう協定書になったなどのいろいろの質問が矢つぎ早に続出した。

○妥結の線に接し腹が立ってしようがなかった、もう闘争はしないと思ったが今日の説明で疑問になった。今後の闘争を十分反省してつぎの闘いを進めてくれ。

○三池がこれほどの闘争を進めたなかには主婦会の力は大変大きかった。それで主婦会の人たちには通り一ぺんの説明でなくて一人一人に十分納得が行くように、徹底したところの説明をして貰いたい。

などの意見、要望も出ている。

聲明書を託す

チェッコのメーデへ

今年も国際メーデーに総評から参加することになっているが、合化労連代表として三鉱労組委員長の野口正巳氏がチェッコメーデに参加するため十八日午後五時二十二分大牟田駅上り急行〃きりしま〃で大地時鶴下単離代表の見送りを受けて出発した。

大牟田地区統一メーデー実行委員会では同氏に大型紙に鉛筆書で、左記のようなメッセージをたくしてチェッコメーデ宛に送っている

世界の各地に　平和の声彫はいとして起る

相違でこういう協定書になったなどのいろいろの質問が矢つぎ早に続出した。

また意見、要望として

○妥結の線に接し腹が立ってしようがなかった、もう闘争はしないと思ったが今日の説明で疑問になった。今後の闘争を十分反省してつぎの闘いを進めてくれ。

○三池がこれほどの闘争を進めたなかには主婦会の力は大変大きかった。それで主婦会の人たちには通り一ぺんの説明でなくて一人一人に十分納得が行くように、徹底したところの説明をして貰いたい。

などの意見、要望も出ている。

聲明書を託す

チェッコのメーデへ

今年も国際メーデーに総評から参加することになっているが、合化労連代表として三鉱労組委員長の野口正巳氏がチェッコメーデに参加するため十八日午後五時二十二分大牟田駅上り急行〃きりしま〃で大地時鶴下単離代表の見送りを受けて出発した。

大牟田地区統一メーデー実行委員会では同氏に大型紙に鉛筆書で、左記のようなメッセージをたくしてチェッコメーデ宛に送っている

世界の各地に　平和の声彫はいとして起る

俺たちは　いま
ストをやっている
が
会社から
おつぼり出されたというのが本
当だ
俺たちは
何も悪いことはしてないのに
三月十六日より
「働きに来られる必要はありま
せん」という
これみよがしに
ベツタリとはり出された
不恰好な門扉の
一ひらの紙きれ
俺たちが
それに
歯をくいしばり
くやしまぎれに赤旗をふりまわし
景気つけにワッショイとがなれ
ば
奴らは
会社をつぶす者だとれか
今こそ！　手を握ろう　腕を組
もう　そして叫ぼう
万国の労働者団結せよ

詩血脈

三川　砂原　岬

郷土をくらくする者はたれか
と
得たり顔して
ふれ廻る

ついこの前まで
（俺たちにはそんな気のする）
足カセの鎖の音が
遠く小便と坑木の腐れの間を
ゆるりゆるりと流れたという
その吐き気を催すような臭のし
みついた
坑内には
戦争というただそれだけの理由
で
狩り出され
殺げたというただそれだけの理
由で
狩り集められた
俘リョたちの
青白い微かな不意
いつか
人知れず
投げかけられていたという

ミシリという重にこたえる感え
バラリと剝げ落ちるツウタン
それは
鉄金のように
しびまと
うこめいて
背筋をはい
やがて
木ワクをきり飛ばし
カツペをへし曲げ
この俺たちを
たわいなく
一のみにしようとする—
本をひろい読みしている坊ズの
奴
焼酎を貰うて待つかかあの奴で
さえも
一緒くたに
何もかも

ドドドドドドと吹き出してくる
マイトの煙の中に
ヘドを吐き
坑道にへばりつき
脳ミソをえぐられて死んで行つ
た仲間を
長崎の被爆者が「十年も経つ
たいま、なお、あの時の放射
能でたおれて行く人があります
が、その恐ろしさに元気で
今は居るものゝ、この次は私
の番ではないかと、毎日々々
が不安でたまりません……」
と、しみじみ語つたその気持
は、おれには良くわかる、と
口々せにそう言つて俺たちの
仲間を——
俺たちはみつけた
そこで
その炭坑で
この俺たちは　いま
ストをやっている

俺たちは
ツルの穂先を突つたてながら
汗が眼にしみるときは
栄養がたりないのかなと思い
腰がいたむときは
青蠅が無性に恋しくなる
あすは日曜と考えれば
取れない眼のふちのクマどりが
気になる
それさえもが
奴らは
気にくわねえというのだろう
ロツク・アウトをくらわせやが
つたりして
いろいろの
首切りではないか！

それとシツたとき
この俺たちは

キリキリキリと
はらわたを締めつけるような機
械の中で
やつと掘りおこした
炭塊を
胸一ぱいにして
涙を流して泣いた
この俺たちは
何も悪いことはしてないのに
ただ

囚徒や
俘リョたちの
したような仕事を
いまやっている

それだけで

この俺たちには
何もかもがゼイタクだと
奴らは
いうのだろう

「見張」によつてはきためられ
続けてきた

環境のような
炭坑の呪いが
この俺たちの口から
いま
吐き出されようとしている
—俺たちの
—生命を
—もう
—ていれいに
—とりあつかつてくれ

そして
奴らが
「あなたたちのいのちは会社あつ
てのものですよ…」
と
つぶやくとき

俺たちの
アカハタは
ブキとなり
スクラムは
トリデとなり
ワツショイはこの俺たちの労働
者の〃感謝〃となつてゆく

さあ　みんな寄つてこい！

充實した労農提携
政策の重點には住宅の建設
宮川組合長歐亞旅行記 (50)

殷戦国という立場ではいずこも同じく、イタリヤにおいてもアメリカさんがあらゆる部門に口ばしを入れ、干渉をしているようである。とくにイタリヤ総同盟については非常な妨害と分裂工作をはかっているそうである。

七年間にわたってイタリヤ総同盟はこれの闘いをするとともに組織の拡大の運動を行ってきたしかしイタリヤ総同盟が組織力の強いのと大きいので、未だにアメリカの野望はつねにはね返されている。

各国と違って農業労働者のうち百万が総同盟に加入していることは非常に大きな特徴である。そのうちの五十万人が小作労働者であり労農提携について大きに苦心を払っている。これについては矢張り地区単位共闘としてその提携を試みているが、例を一つとるとある大企業において大量首切りが出たため工場を占領し、一年間生産管理を行つた金属労働組合がある。

その金属労働組合の大闘争について附近の農業労働者たちは毎日幾百台もの車が食料あるいは副食物を無料で贈ってくれた実例がある。

イタリヤ国民はクリスマスには七面鳥を食べるという習慣であるが、このクリスマスに農民労働者は一人一羽を労働者に贈ろうという運動を自主的に起して、予定以上に行ったという例もあり、このような中で苦しい闘いを続けながらも、発展の方向に近寄りつゝあるというのがイタリヤの動勢である。

丁度そのころ、ガス、都市交通などを中心にした大ストライキが行われていたので、具体的に工場などの見学をすることが出来なかったのは残念だったが何とか総同盟の幹部が闘争の方に主力を注いでおったので、こちらも遠慮して、二回ほどの懇談会を行ったに過ぎない状態であった。

私たちは年末闘争のさ中でもあり、イタリヤ総同盟の闘争中の多忙さも伺えるので一日も早く出発しようと飛行機の手配をした。漸く飛行機の手配もついて十一月廿日にエールフランス機で帰国することになった。

イタリヤの印象を取りまとめて言うと、総合的に考えて、生活状態は日本よりも多少悪いのではないかと考えられたし、組合運動については日本よりも一歩前進していると感じられた。しかし同じ資本主義の国であり失業者の多い国という立場からいずれも困難な運動を続けていることは共通していると考える　イタリヤの終戦後の政策として、とくに貧農を救おかれたのは住宅政策であると聞いていた。住宅には相当重点をおいて建てられ、立派な住宅が全国的に多数つくられている。これはアメリカからの援助資金の中心を住宅において戦災復興をはかったということが言える。

ドイツでは工場の建設、住宅の建設に重点がおかれたが、日本では同じ援助を仰いだ金でビルディング建設と映画館の建設外国自動車の輸入などに注がれており、それぞれの国で各々特徴をもつて終戦後の復興がされたということがその国の政治がありのままの姿を物語っているという印象を受けた。

石油科学インターに出席した代表者たちは、私たちよりも一足さきに、インドに行くということで出発した。

私たちは終戦後のローマを一日見学して、夕刻ローマの飛行場に向った。（写真はセントピータス寺院の前で）

薬になつたこの闘い

質　違反か違反でないかは事前にはっきりしていたか。

答　当時会社の圧力が非常に大きく感じていて絶対引かない状態だった、それに批判は本当に建設的批判でなくひぼうになるおそれがありこれは闘いを敗退させる。

質　始めから組合の情宣では総資本と総労働の対決ということではなかったか。

答　結果として総資本対三池という形に変ってきた、当初は考えていなかった。

質　闘争が根本的に間違っている苦情処理に毛の生えたような問題をどうしてあんなに大きく、持っていかねばならなかったか

答　組合の闘いは間違っていないと思う、ただ情勢分析の把握が間違っていた。会社がやさしい問題に答をだざなかったところに本質的な問題がある。今後はこの闘いをいかに生かすかということが大切だと信ずる。

他山の態勢は

質　三鉱連の内部態勢といわれるが、他山に十分知らせず後でモタついたことは三鉱連中央委員会は、これに対する戦術転換などをきめなければならないと思う、これにはどういう理由だったか。

答　山野、田川も最初からついてこないとはいっていない、三鉱連は争って勝たせるという決議をして努力したが十分でなかった。最初は努力すれば可能だとみていた。

質　前段闘争は各山でどう組まれたのか。

答　三鉱連一本の形でやられた。

質　失なわれた生産を取返すことは協定書にあるが、労働強化にならないか。

答　これは期待するということであって強制するものではない。われわれに責任はないのです。

質　労協問題の違反は、組合では違反か違反でないかを事前につかんでおったか。

答　違反でないと思っている。本当に違反ならば会社はこの前に提訴すると思う、提訴しないから力の関係になったそれが力の相違でこういう協定書になったなどのいろいろの質問が矢つぎ早に続出した。

○妥結の線に接し腹が立ってしようがなかった、もう闘争はしないと思ったが今日の説明で疑問になった。今後の闘争を十分反省してつぎの闘いを進めてくれ。

○三池がこれほどの闘争を進めたなかには主婦会の力は大変大きかった。それで主婦会の人たちには通り一ぺんの説明でなくて一人一人に十分納得が行くように、徹底したところの説明をして貰いたい。

などの意見、要望も出ている。

聲明書を託す

チェッコのメーデへ

今年も国際メーデーに総評から参加することになっているが、合化労連代表として三鉱労組委員長の野口正巳氏がチェッコメーデに参加するため十八日午後五時二十二分大牟田駅上り急行〃きりしま〃で大地時鶴下単離代表の見送りを受けて出発した。

大牟田地区統一メーデー実行委員会では同氏に大型紙に鉛筆書で、左記のようなメッセージをたくしてチェッコメーデ宛に送っている

世界の各地に　平和の声彫はいとして起る

飜弄された議長席
選挙と結んだカラクリ

国会だより

三月二十七日河合参議院議長（以来、約一週間、委員会も開かれず、解散おそくまで何故参議院は紛糾したのか、その真相は奈辺にあるのか。以下極く簡単にその経緯を御報告致します。

会社への憎しみに燃える
母の背で坊やも共に闘つた

緑風会）が議長辞任届を提出して

一九五六年五月一日

二十七日朝の毎日新聞が議長辞任をスクープして一般の注目を集めたが、夕刊は一斉に当問題をとり上げて、秘密裡に取引きされようとした議長交替が公然とバクロされてしまった。

我が社会党は勿論、事の重大性にかんがみ、徹底的に追求することを決定して議長辞任問題に取り組んだ。

眞相はこうだ

先づ公的な河合議長辞任の理由は来る六月三日に各議員の任期が満了するので、その後選挙が行われ国会が召集されるまでの相当期間、参議院の議長が公欠する恐れがあり、国家機関としての重要性から斯かる事態の起ることを回避する為というのである。（これは副議長も同じ）

併し新聞等も報じた如く辞任の真相は河合議長が選挙運動に専念したい為であり、尚今度の選挙に当つて自民党の援助を欲したので

ある。これを見た自民党は人の良い河合議長では今度の疑獄調査会法、小選挙区法等は社会党に流される恐れがあったのでこれ幸いと自民党の松野鶴平を議長として、重要法案を強引に押し切る為に議長の辞職をせまりこれに河合議長が屈して圧取引がされたのである

相つぐ秘密会議

当時この問題を取り扱う議事運営委員会の委員長、理事打合せに理事として出席した私は次の点で徹底的に自民党を追求した。

一、議長辞任の理由が院の倒壊の欠陥に困るものだから、その欠陥を既然いて明朗なルールを確立すべきである。そうすれば河合議長は辞任させる必要はない。

二、もし河合氏の辞表を認めるならば今度改選になる半数の議員は議長候補者が出来ない結果になり国民に与えられた権利の放棄である

三、議長辞任の理由は当然副議長にも該当するのに副議長がそのまま居坐るのはおかしい、しかしこれらの点については勿論答弁もしどうもどうで物別れ。自民、緑風会共者三にわたって秘密議員総会を開き対策を協議せざるを得なかった。

その後議運理事会——各派議員総会と何回繰り返えしても話し合いは遅々として進まずその間参議院の各常任委員会は審議中止、日時の経過するに従って漸くあせり気味になった自民党は、緑風会を抱き込み理論的にスジの通らぬ議長辞任問題を、自民、緑風のなれ合いで曖昧的に本会議上提の強行突破に出て来た。

國民の目を

ゴマカス緑風会

今から約三年前までは、まがりなりにも是々非々の中立的な存在としての緑風会に議長を与え、これに協力した我が社会党も、事ここに至って、緑風会自ら議長の職を放棄して自民党に屈した姿はあまりにもみじめであり、かつ国民の眼をごまかす存在であり完全な保守反動の第五列となり下った。

そこで我々は国会法で認められたあらゆる方法を利用して、議長辞任の緊急質問、さらには反対討論を行なって天下にその真相をつまびらかにすべきであるとしたがこれ又自民、緑風の陰謀に拒否されてしまった。

それのみか破防法の如き重大な法案審議の時ですら議運委員会を開催して本会議に臨んだのに、僅か議長交代に当って、議運も開かず一挙に本会議開催へと持ち込んだことは、如何に狂気じみた自民党とは云え、今まで未曾有の前例を残した結果になり、必ずや将来悪例として、世の指弾を受けるばかりか自らも苦しむことであろう。

（阿具根参議）

石原議運委員長の解任決議案を
もつて壇上にカケ上つた社党議員

組織防衛總決起大會
スナップ集 (2)

会場の笹林公園は三万五千の組合員、家族をのんで眼ち切れるばかりの状態。素晴らしい塊りだった

「自由を守れ」「ロックアウト粉砕！」のプラカードも高く三川支部の堂々の示威行進

合所は引受けます、はち巻もキリツと締めて足並も揃え、祭りまもやしながら続々と会場に繰り込む

初夏にも似たギラギラする光の日は、じつとしていても汗ばむ、新岡、風呂敷が日傘代りをつとめる

地域ヨモヤマ話

今日この頃の地域分会では、挨拶代りに「情報はつたか、情勢はどげんなつとるかね」ということが、合言葉となっている。

近頃の新聞は、賃闘終結後、バタツともいわんようになった。

「これは組合員の勤揺をねらって情報が入らんので不安からせるためのものだ」

「その反面、おれ達が仕事をやらせろという要求をもっているのでそんな気持ちをそそるような記事ばっかりこの頃ぼやく」

と新聞の憂うつさ、反動性について

横暴に亂れ飛ぶ野次

かくて四月三日夜、議長辞任の承認ならびに後任議長選挙の本会議開催となったが、あくまでこれを阻止せんとする我々は、副議長の開会宣言と同時に、議運を開かなかった石原議運委員長（自民）の解任決議案を持って壇上にかけ上った。この為約四十分間本会議は進行せず自民、緑風の横暴をなじる野次が乱れ飛んだが、結局社会党から十五分の反対討論を行なって、もみ締った議長辞任問題は後に幾多の問題を残して一応終止符をうったのであるが、これではつきりと浮び上ったのは日より見主義の緑風会がその姿を表わした事で百鬼夜行政治改憲、再軍備労働者弾圧に於く自民党の手段を選ばぬ態度と全く同じであるという事である。我々は院の内外を緊密に手を提に堂々我らの旗を強く押し進めねばならぬ事だ。

明日は子供の八回目のひなまつりを迎えるので、しまいこんでいたおひなさまを取りだし、飾ってやりました。始めてのおひなまつりのときには色々な紙色の折り鶴や飾りを下げた中に、実家からもらった、その頃としては申し分のない、きっと娘の肩身を狭くしたくないという心づくしか立派なおひなさまと、姉の手作りの人形とが飾られ桃の花に心ばかりのご馳走をしたことを覚えています。

でもそれは、主婦としては、まだ実力のない若妻の勇気と愛情の中からしたものであり、兄の子が明日初めてのひなまつりで、大きなひな段にたくさんの人形を飾るそれに較べると、可愛想なほど貧弱でもあったと思います。

でも私は子供の成長を願い、幸福な幼女期の思い出をつくってやりたいと思ったのです。そして赤ちゃんのときの様子、死ぬ程の病気をしたときのことなど話して聞かせ、私たち父母の愛情がどんなに大きかったかを感じさせ、子供に幸福感を与えることが今日学校から持って帰ってきた画用紙にはりつけたおひなさまなど、子供の手によってひな段に飾られるようになり、子供の成長の早いことを考えさせられ、子供たちがやがては若い青年になり、一個の立派な考えを持つようになったとき私も若いこんでしまわず若々しい気持で子供の相談相手になれるようにしたいものだと思いました。そして明日のひなまつりが楽しい思い出となるよう、暖い愛情でひなまつりの〃雰囲気〃をつくってやりたいと思っています。

一隅想
ひなまつり

三川外来一区　松本清子

映画
故郷のない人々の悲しみを描く
『東京の人』

ないせつ（日活）原作は川端康成の長篇小説で、戦争によって妻を失つた父娘と、夫を亡くした母娘の二家族を中心に、東京という花やかな大都会に生活する心の故郷のない人々の悲しさを描いた文芸篇

出演　月丘夢路、左幸子、滝沢修、芦川いずみ他。

おはなし　島木（滝沢）は事業に失敗して東京に帰つて来た。島木の家には、朝子（左）、清（柴）の二人の子を持つ寡婦の妹と、一人娘の三子（芦川）を男手一つで育てて来た島木と敏子は結ばれた。ところがある日、島木は会社の金を持ち出して失そうした。島木を失つた敏子は青年医師昭雄（葉山）を知つた。自殺を伝えられた島木は生きていつ、島木に接情を注ぐみね子とは何処えとなく船出する。

明暗二つの場面を対比的に描きこれに明るく語り合う清と三子と敏子を中心とした彼等の生活に新しい希望を託してラストが結ばれる

みどころ　父親には実子が一人あり、二人の連れ子の母親、復雑な家庭を背景として登場する人物は多彩だが、映画は単調なメロドラマは終つてしまつている。

作品価値　B級

【廿五日から荒尾各劇場・廿九日から大天地】

実石デザイナーの白井敏子（月丘）がいた。

戦後妻を失い、一人娘の三子（芦川）を男手一つで育てて来た島木と敏子は結ばれた。ところがある日、島木は会社の金を持ち出して失そうした。島木を失つた敏子は青年医師昭雄（葉山）を知つた。自殺を伝えられた島木は生きていつ、島木に接情を注ぐみね子とは何処えとなく船出する。

明暗二つの場面を対比的に描きこれに明るく語り合う清と三子と敏子を中心とした彼等の生活に新しい希望を託してラストが結ばれる

みどころ　父親には実子が一人あり、二人の連れ子の母親、復雑な家庭を背景として登場する人物は多彩だが、映画は単調なメロドラマは終つてしまつている。

作品価値　B級

【廿五日から荒尾各劇場・廿九日から大天地】

メーデー使節

ソ連、中國などへ

今年の海外メーデーには中国（十四名）ソ連（十二名）チェコ（三名）ルーマニヤ（二名）からそれぞれ代表派遣の招請があっているが、給評ではこれらの代表をきめてメーデ使節を送ることになった

メーデー寫眞のとり方

今年のメーデーは、もはや労働者だけのものでなく、国民全体のものになってきました。美しい装いの婦人労働者、闘志に燃えた労働者、子供の手を引いた主婦、歌と踊りにはずむ青年婦人労働者、それぞれの異なる姿と勤作の中に、共通したものは平和と生活を守る闘いの意志と〃今日一日こそ俺らが天下〃という全労働者団結の日の押えきれない喜びがみなぎっていることです。様々の姿の中にこの団結と闘志と喜びこれ程写真にとらえるべきだと思います。そして「ワアッお父ちゃん、メーデーってこんなんか、ボクも行きたいな写真、これが今年の作画のネライとつて組写真を作りましょう。レフカメラの人が会場全景とデモコース中の一地点の待機、卅五ミリカメラが会場スナップとデモのアップにすれば撮りやすいでしょう

御苦労でした

緑ケ丘の給町では昨年三川鉱を退職されて社宅に引続きおられた佐石さんが、こん度新たに住宅がきまり社宅を出られることになったので、松主婦分会（会長、木下いくえさん）ではいままでの同氏の労をねぎらい、今後の健康を祝して記念品を贈呈した。

ちなみに佐石さんは在職中はいろいろと地域分会や主婦会には積極的に協力されて感謝されていたがなかでも昨年の退職に際しては、その退職金の中から主婦会へ主婦会旗を寄贈されたほどの熱心さであった。こん度社宅を離れることになられたので主婦会ではこん回の記念品贈呈となったものである